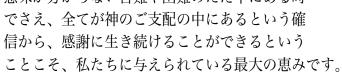
グリニッチ福音キリスト教会 週報付録 135 号

MANNA マナ 2014年5月11日

【先週の礼拝メッセージより】

「主に感謝せよ!」詩篇118篇

意味が分からない苦難や困難のただ中にある時 でさえ、全てが神のご支配の中にあるという確 信から、感謝に生き続けることができるという



● 1~4節 感謝は命令!「主の恵みはとこしえまで」と言おう!

私たち異邦人はイスラエルに接ぎ木された枝ですが、それ故、この詩篇 の呼びかけの対象に加えられています。その呼びかけとは「主に感謝せ よ!」であり、「主の恵みはとこしえまで」と告白することです。

● 5~9節 主に焦点を向けると、人を恐れることから自由になる! 苦難の中にありながらもなお感謝し続けるための第一歩は、主ご自身に 焦点を向けることです。過去を思い出し、主がどのような所を通して下 さったか思い起すことです。私たちの多くの問題は「人」から来ますが、 人と主の大きさと真実とを比べるなら、問題は問題でなくなるのです。

● 10~14 節 現在の困難に対して必ず勝利できるという確信

ここで三回、確実に勝利できることが繰り返されています。主が過去に 勝利させてくださったように、今抱えている問題にも必ず勝利させてく ださることを私たちは確信し、勝利を先取りすることができるのです。

■ 15~29 節 究極の感謝、義の門、主の門より入る希望

この箇所の多くの部分は、主イエスが来られたことによって成就しまし た。多くの部分が新約聖書に引用されています。イエスご自身、ご自分 を「門」と言われましたが、私たちはその主を信じることを通して、義 とされ、救いを頂き、もはや、死ぬことから自由にされました。

★ 私たちは昔を思い起し感謝し、今の状況の中で感謝し、将来のこと を思い描いて感謝できるのです。感謝をますます生活化しましょう。■

【母の日の由来】

♥ 母の日は1915年にアメリカでホリ デーになりました。母の日をホリデー にするために一生懸命、頑張った人の 名前はアンナ・ジャービスという人で す。♥アンナさんのお父さんは牧師、 お母さんのアンさんもずっと教会学校



の先生をしていましたが、お母さんのアンさんは、若い母親たちに子供 の育て方を教えるためにアメリカ全国に MOTHER'S WORK CLUBを 立ち上げる働きをし、さらに南北戦争後は傷ついた南北の人間関係を修 復し、コミュニティーの再生に大いに活躍しました。♥アンナさんのお 母さんが亡くなったのは、1905年の5月、お母さんに助けられた大勢 の人々から感謝状が届く中、アンナさんの願いによって、当時ウェス ト・バージニアにあったメソジスト教会で「自分のお母さんと、お母さ んたち全員」を記念する礼拝がなされました。1907年に行われた礼拝 には、大勢の子供たちとお母さんたちが集まり、記念にお母さんが好き だった白いカーネーションが配られたことから母の日にはカーネーシ ョン、となりました。♥アンナさんはその後、6年間かけて、母の日を アメリカのホリデーにして欲しい、と熱心に国会議員たちに働きかけ、 ついに1915年に実現したのです。♥アンナさんは母の日が商業化され ることを大変嫌い、この日が本当に、お母さんたちを覚え、心から感謝 する目にしてほしい、と亡くなるまで訴えつづけたと言われています。 ★ 皮肉なことですが、母の日は商業化されたからこそ、今に至るまで しっかり祝われ続けているという言い方もでき、商業化=悪、とは言い 切れないものがあります。しかし!母の日は、教会で始まったことで すから、この日を覚えて、先ず、私たちが率先して、母たちを大切にし て行きたいものですね。